

「2023年度 近畿北陸ブロック ASPnet 小中高生ESD、SDGs宣言」
～持続可能な社会の創造に向けた私たちの役割～

2023年9月2日

2023年度、近畿北陸地域のASPnetでは、大阪府、奈良県、兵庫県、滋賀県の13校、約120名の小中高生、大学生が集まり、2回のワークショップ、1泊2日の滋賀県での学び合い、フォローアップセミナーを通じて、ESDとは何なのか、私たちが学校で大切にしていること、身近な地域の持続可能性を考えました。

滋賀県八幡堀では、城下町として栄える際に堀が作成され水路として活用されたものの、時代とともに陸路が発達し使われることがなくなっていきました。埋め立ての話もでしたが、「堀は埋めた瞬間から後悔が始まる」を合言葉に先人の作り上げた伝統を守りたい、と当時の一部の住民が立ち上がり清掃活動を始めたことを知りました。

2023年8月20日、21日には、ともに学び合いをした小中高大学生が滋賀県に集まりました。針江地区でのフィールドワークでは現地のボランティアの方々に川端（かばた）を案内してもらい、針江の人々が下流の人たちを想って水をきれいにつかっていることを学びました。

そこで私たちは、地球・環境・社会・人に対して関心が無くつながりを持たずとしないこと、他人よりも自分の得になることしか考えていないことが問題だと気付きました。

この問題を解決するために、人と人、人と自然、人と社会の繋がりを意識しながら、自分と違った暮らしと環境に興味をもち、学び続けることを大切にしたいと考えました。そうすれば、魚、虫、植物、動物、人など全ての生き物の違いを超えて、すべての生き物がお互いを信頼し合い、支えあい、共に生きることができると思います。

さらに、私たちが普段の生活で考えるべきこと、すべきことは何か、意見を出し合い、次の約束を決めました。

1. 自然に触れて課題を積極的に見つける
2. いろいろなものに興味をもつ
3. 自分の行いによる影響を想像して、行動を選択する
4. 地域の人との交流を深める
5. 上の4つのことを実践し、知ったことを次世代の人たちに発信し続ける

これをもって、私たちの共同宣言といたします。